

レシップホールディングス株式会社(証券コード:7213)

2013年3月期 決算発表

※ 連結業績に関するご参考資料

	13/3月期の実績	P 2-3
	14/3月期の予想	P 4-5
	新中期計画の概要	P 6-18
	補足	P 19-23

13/3期の実績

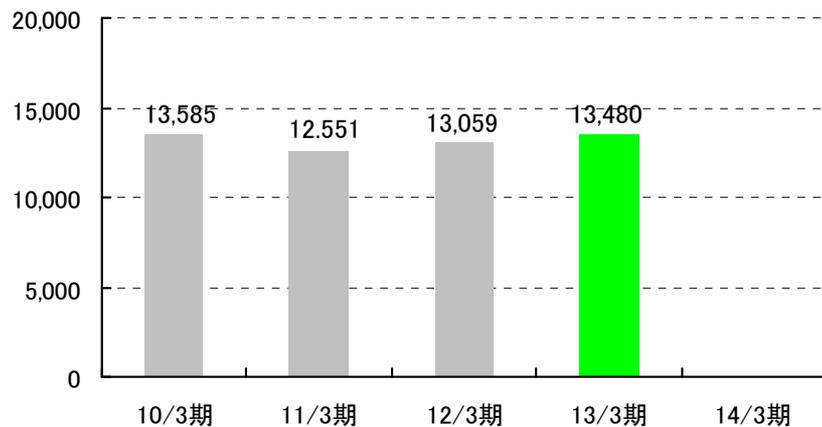
業績ハイライト

(単位: 百万円、%)

	12/3期	13/3期	増減	増減率
売上高	13,059	13,480	+420	+3.2%
営業利益	493	477	△16	-3.3%
経常利益	514	526	+12	+2.4%
当期純利益	132	292	+159	+120.3%
為替	80円/ドル	83円/ドル	+3円/ドル	+3.8%

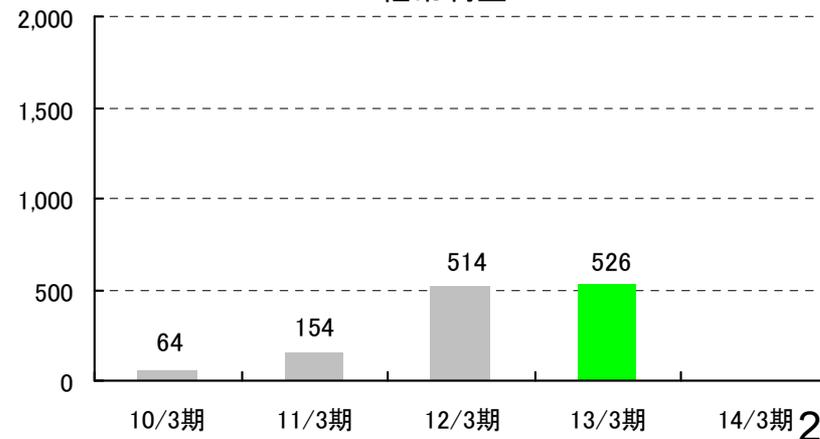
(単位: 百万円)

売上高



(単位: 百万円)

経常利益

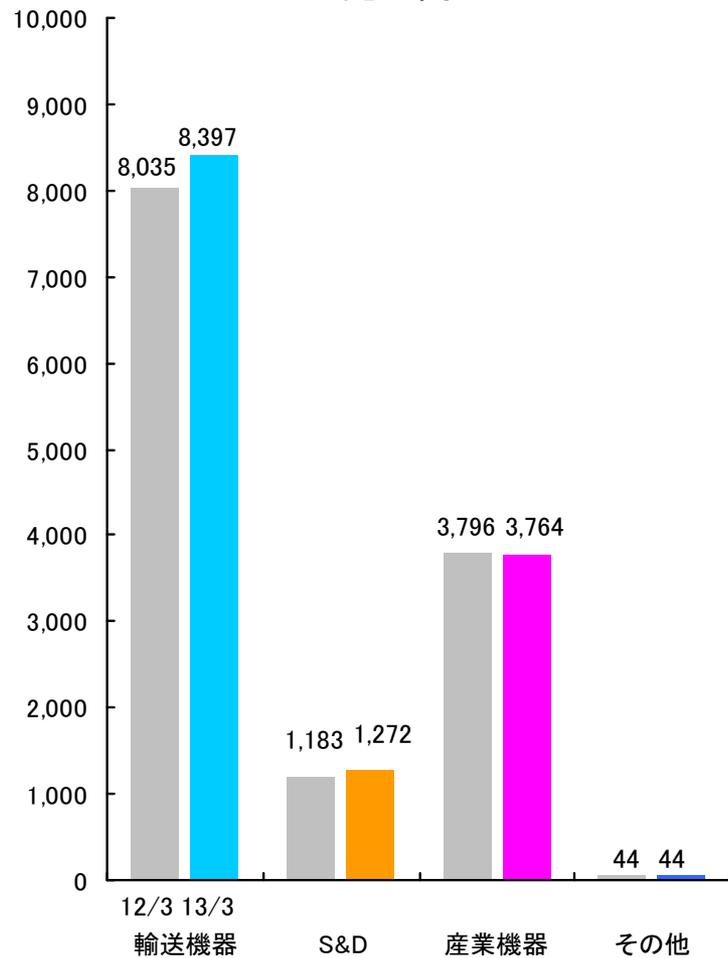


13/3期の実績

セグメント別実績

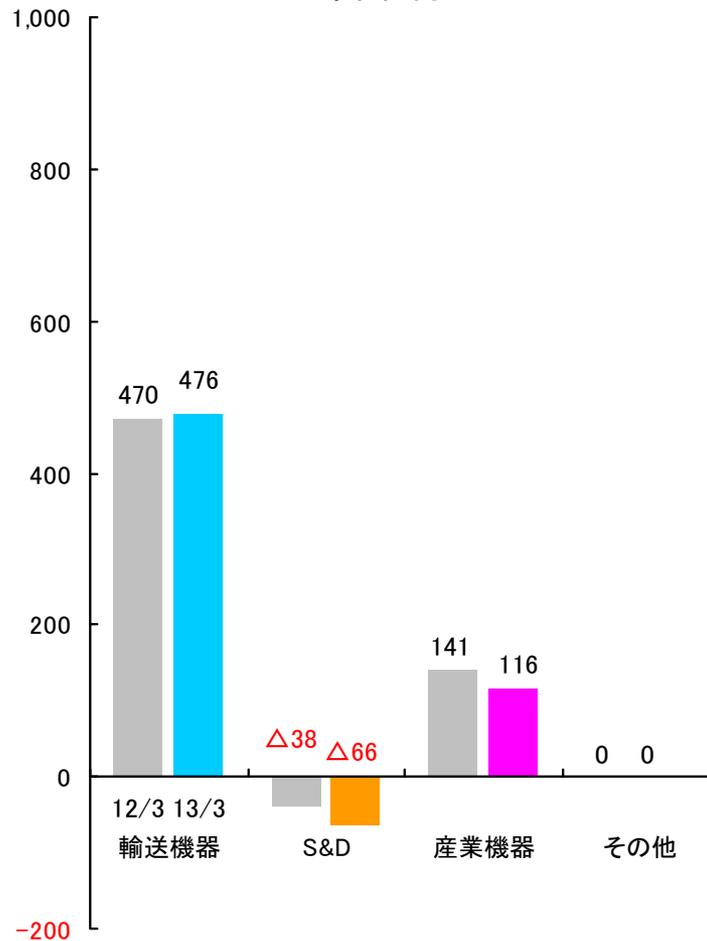
(単位:百万円)

売上高



(単位:百万円)

営業利益



14/3期の予想

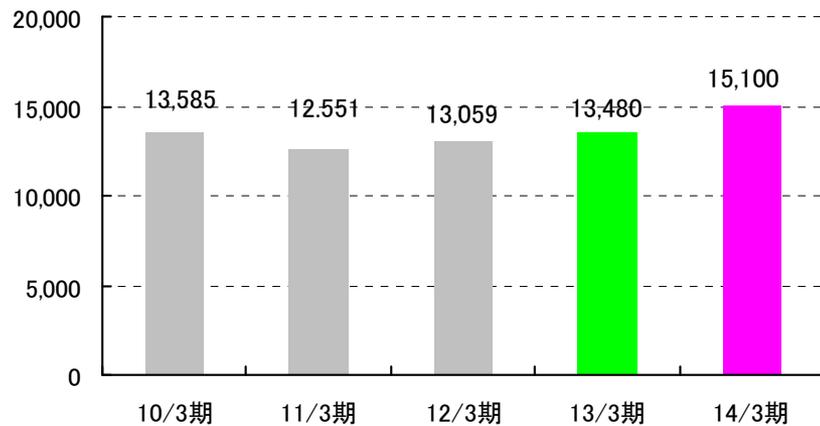
業績予想

(単位: 百万円、%)

	13/3期	14/3期	増減	増減率
売上高	13,480	15,100	+1,619	+12.0%
営業利益	477	380	△97	-20.3%
経常利益	526	400	△126	-24.0%
当期純利益	292	230	△62	-21.2%
為替	83円/ドル	95円/ドル	+12円/ドル	+14.5%

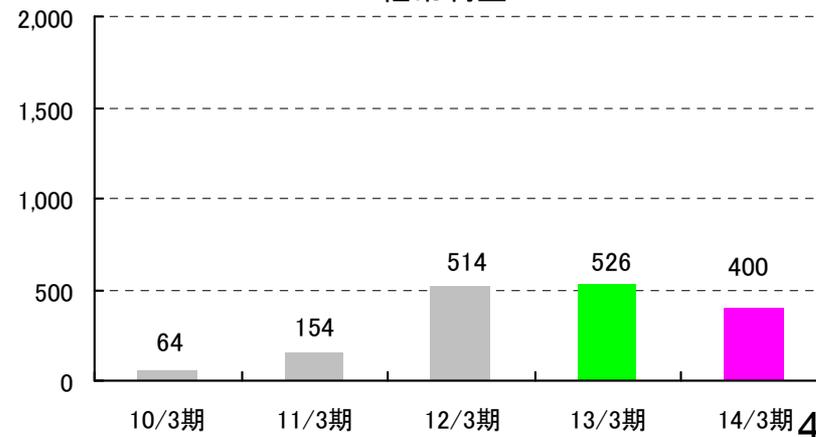
(単位: 百万円)

売上高



(単位: 百万円)

経常利益

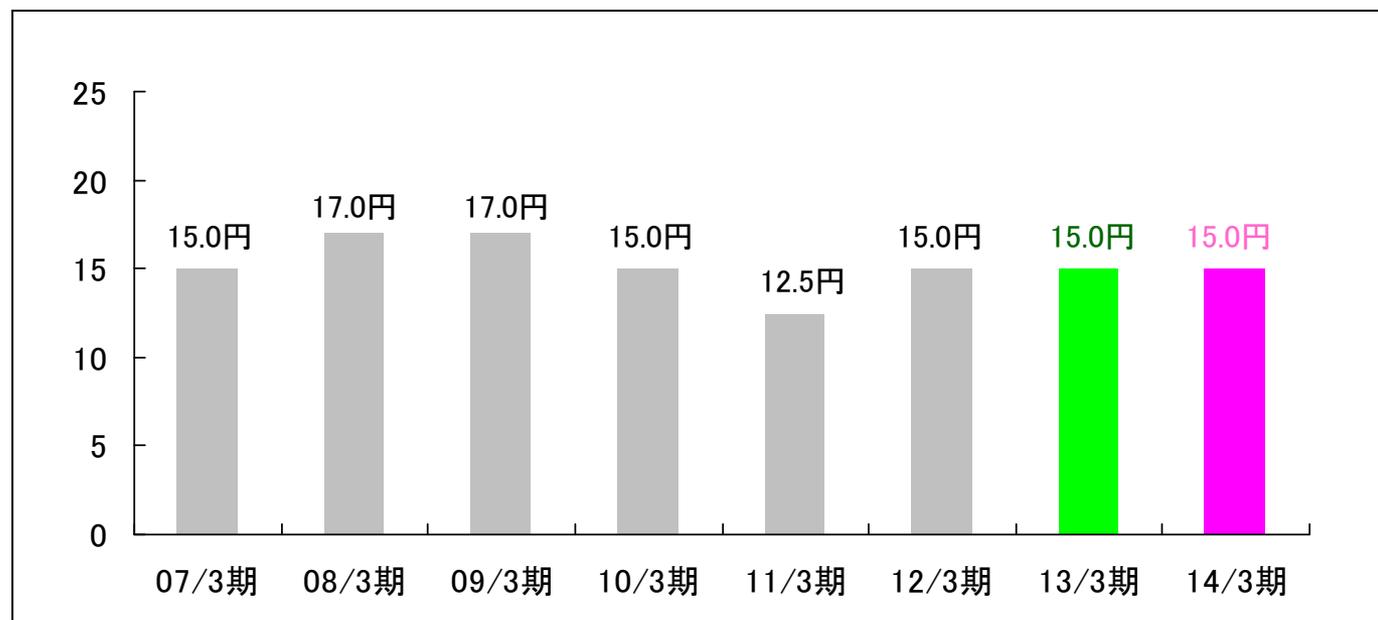


14/3期の予想

配当予想

✕ 14/3期の予想配当は、15円00銭を予定

✕ 中間の株主優待「富有柿」も継続



新中期経営計画の概要

2013年度

LECIP GROUP方針ポスター

LECIP GROUP COMPANY PLAN +1=2015

AFC・TMS・SLPを融合したプラス・ワンの新しい価値をお客様に提供する戦略商品・システムの創造

重点課題

- TMS事業をAFC事業と並ぶ二つの柱とする
- 国内外でのLED商品の拡販
- 次世代機器・システムの商品企画と拡販
- プロセス改善によるQCDの向上
- 海外パートナーシップの強化と戦略商品の創造

平成25年度 LECIP GROUP 方針ポスター

2014年度

LECIP GROUP方針ポスター

LECIP GROUP COMPANY PLAN +1=2015

AFC・TMS・SLPを融合したプラス・ワンの新しい価値をお客様に提供する戦略商品・システムの創造

重点課題

- TMS事業をAFC事業と並ぶ二つの柱とする
- 国内外でのLED商品の拡販
- 次世代機器・システムの商品企画と拡販
- プロセス改善によるQCDの向上
- 海外パートナーシップの強化と戦略商品の創造

平成26年度 LECIP GROUP 方針ポスター

2015年度

LECIP GROUP方針ポスター

LECIP GROUP COMPANY PLAN +1=2015

AFC・TMS・SLPを融合したプラス・ワンの新しい価値をお客様に提供する戦略商品・システムの創造

重点課題

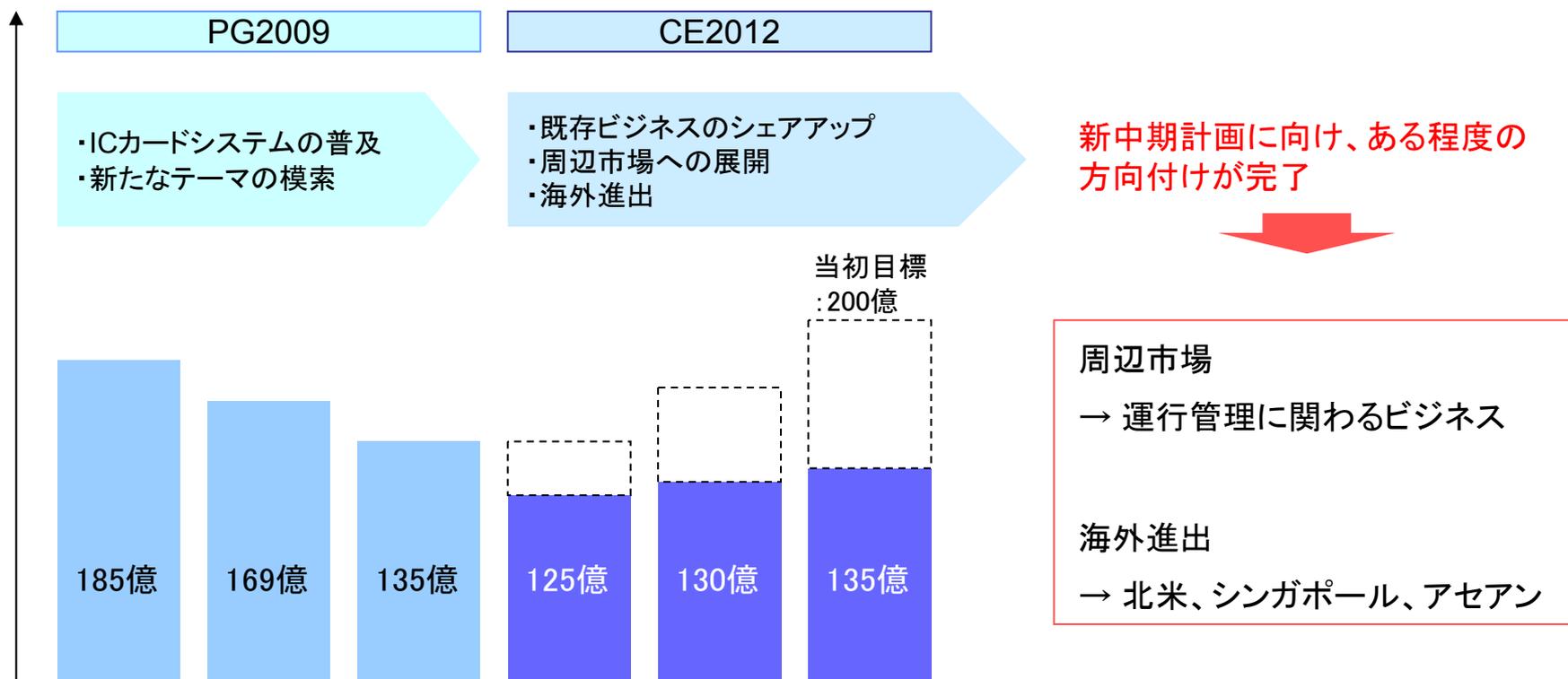
- TMS事業をAFC事業と並ぶ二つの柱とする
- 国内外でのLED商品の拡販
- 次世代機器・システムの商品企画と拡販
- プロセス改善によるQCDの向上
- 海外パートナーシップの強化と戦略商品の創造

平成27年度 LECIP GROUP 方針ポスター

新中期経営計画の概要

前中期経営計画の振り返り

売上高



新中期経営計画の概要

事業環境認識

<h3>国内の経済環境</h3>  <p>新政権による積極的な財政出動・金融緩和</p>	<h3>国内バス市場</h3>  <p>運賃箱の代替需要が回復傾向 バスの生産台数は平行線</p>	<h3>国内鉄道市場</h3>  <p>新幹線など新車台数は微増</p>
<h3>国内自動車市場</h3>  <p>国内トラック販売は増加見通し</p>	<h3>S&D市場</h3>  <p>LED市場は好調をキープ ネオン市場の縮小は止まる</p>	<h3>産業機器市場</h3>  <p>復興需要の収縮</p>
<h3>アメリカ</h3>  <p>住宅市況など、回復傾向</p>	<h3>シンガポール</h3>  <p>景気の下支えに財政出動を継続</p>	<h3>中国</h3>  <p>人件費の上昇 景気に減速感</p>

大前提: 前中期計画で定めた方向性を継続

- 周辺市場への展開 ▶ TMS事業の確立 ※TMS: 運行管理システム(Transit Management System)
- 海外展開 ▶ 北米・シンガポール市場での販売活動強化

※「既存市場でのシェアアップ」については、既存の主力商品の多くで半数以上を確保しており、
今後は維持活動がメインとなる

ただし、見直しが一部必要

- S&D事業 ▶ LED関連製品については、しっかりと採算が取れる市場へのシフトを目指す
- 海外からの調達 ▶ 円高によるコストUP対応が懸念されるため、調達レイアウトの見直しを行う

新中期経営計画の概要

目標

タイトル:+1=2015(プラスワン2015)

AFC・TMS・SLPの融合によるプラスワンの価値をお客様に提供する戦略商品・システムの創造

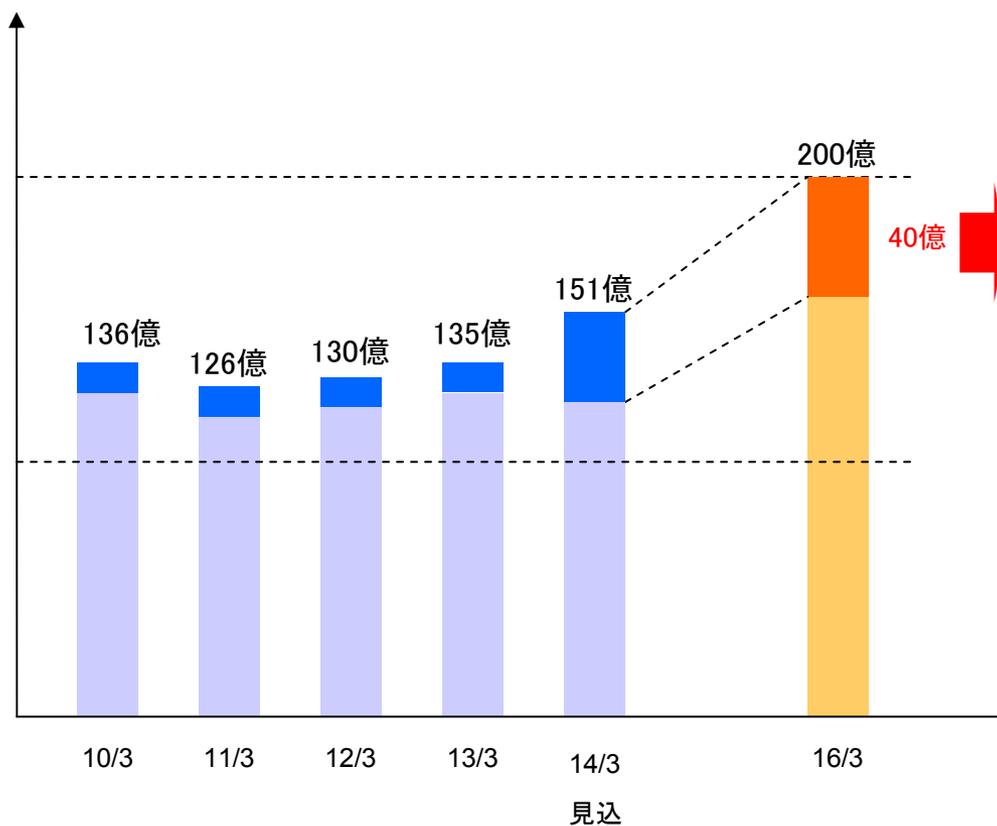
数値目標	16/3期	(参考)13/3月期	
	売上高	200億円	135億円
	経常利益	12億円	5.3億円
	海外売上比率	20.0%	3.0%

前提条件	為替(対ドル)	95円/ドル	83円/ドル
	為替(対元)	15円/元	13.5円/元

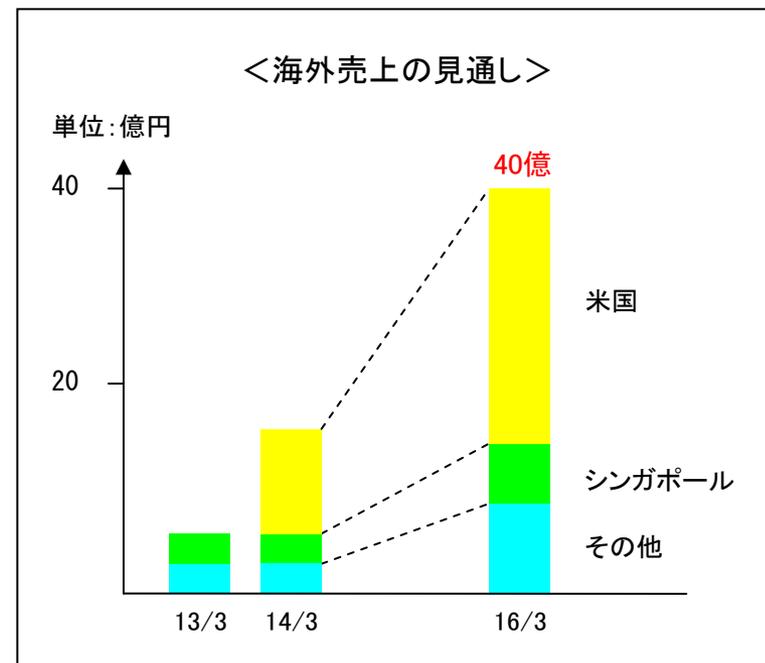
新中期経営計画の概要

数値目標

売上高(億円)



北米市場で20億円、シンガポール市場で5億円以上を目指す

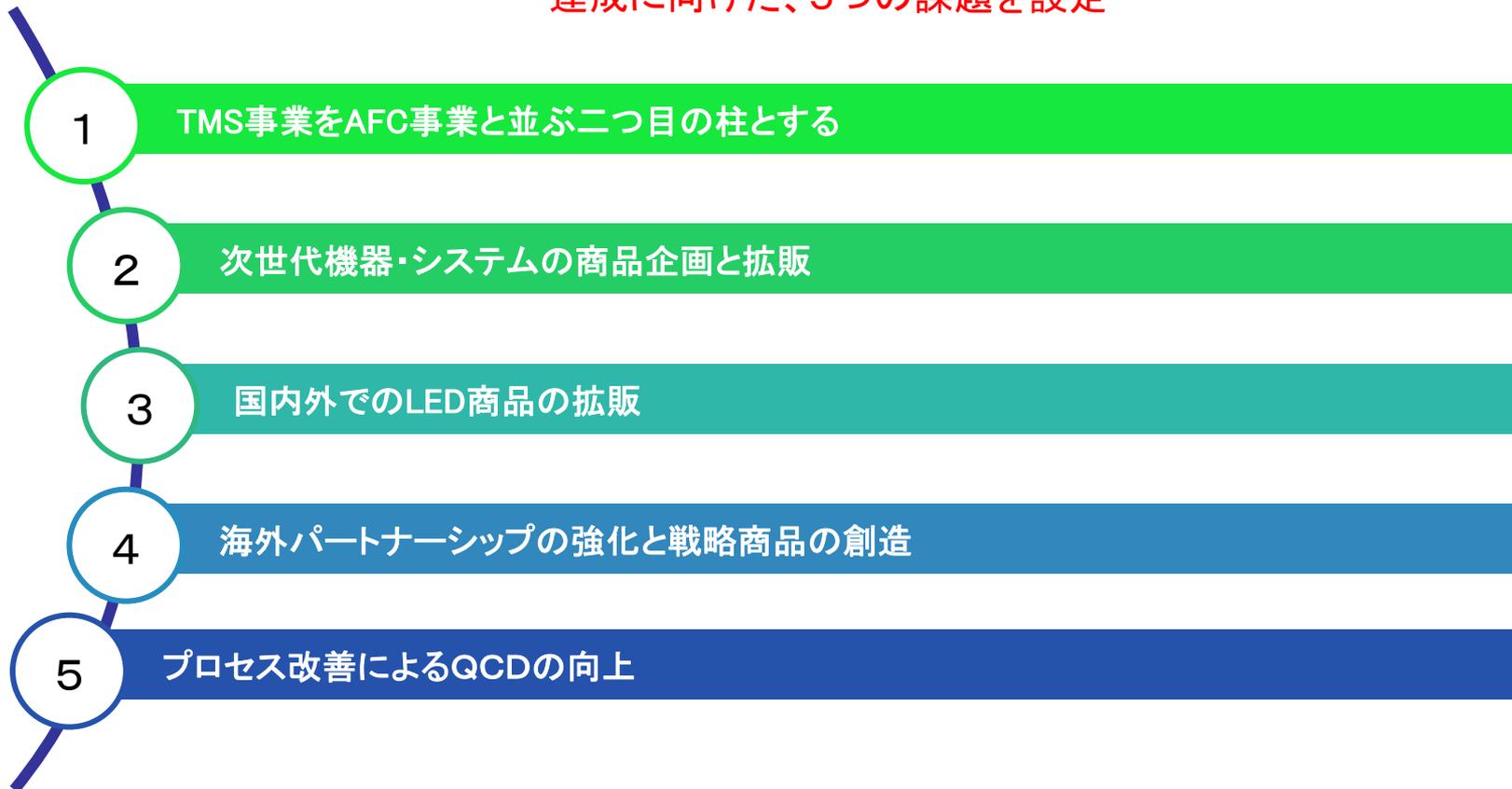


5つの重点課題

「+1=2015」のテーマ

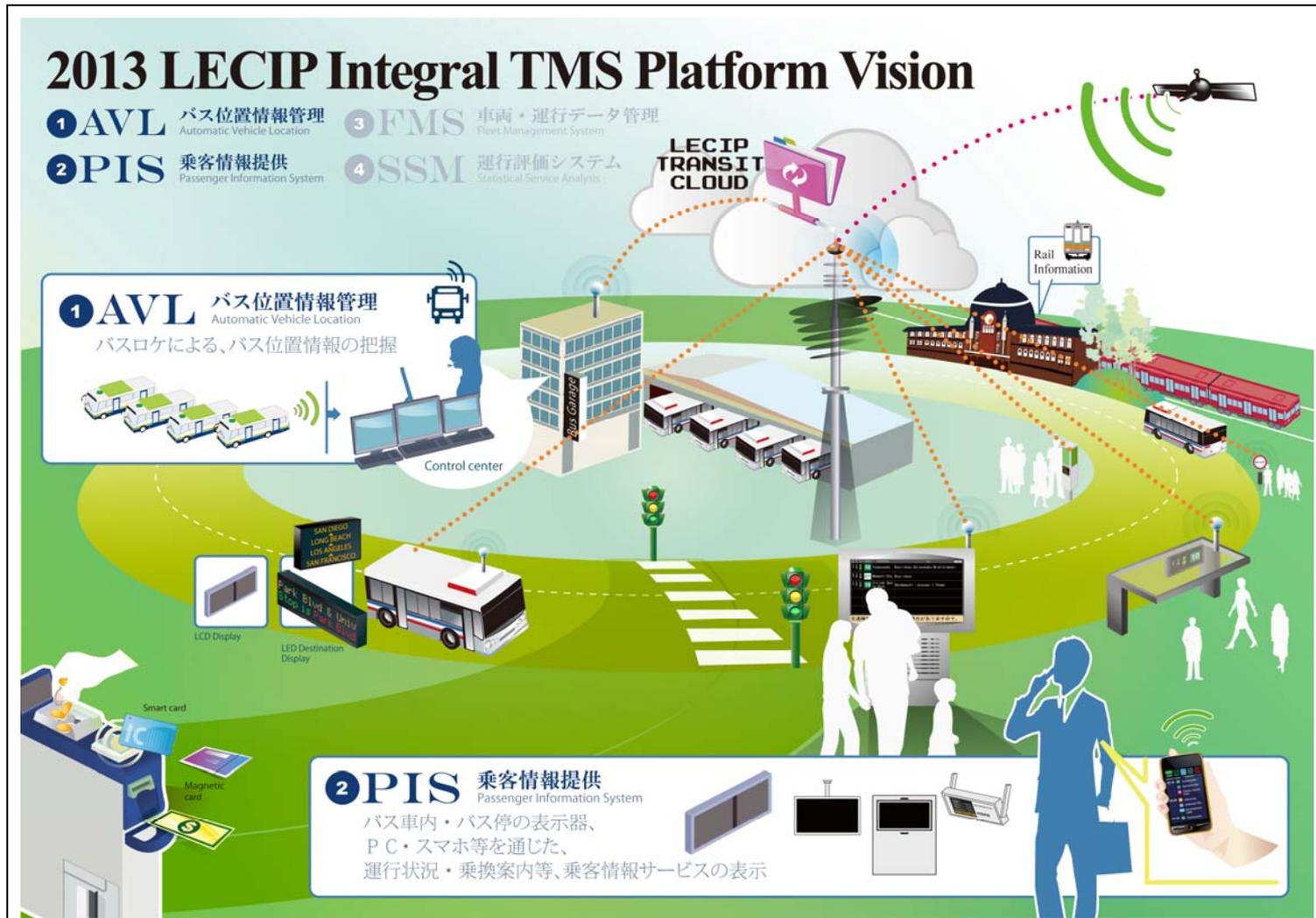
AFC・TMS・SLPの融合によるプラスワンの価値をお客様に提供する戦略商品・システムの創造

達成に向けた、5つの課題を設定



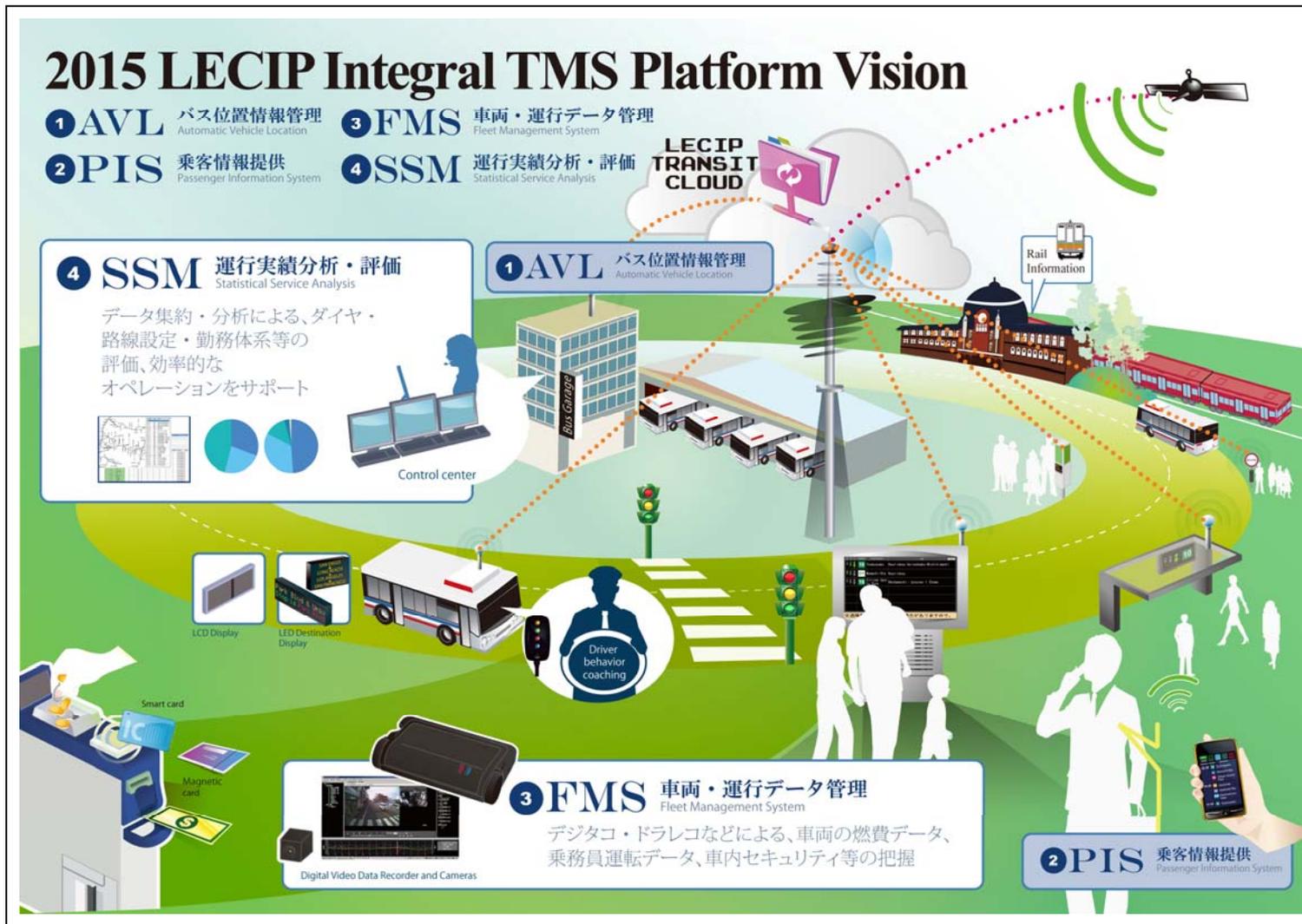
重点課題① TMS事業をAFC事業と並ぶ二つ目の柱とする

現在、当社グループが提供するAVLとPISの概要



重点課題① TMS事業をAFC事業と並ぶ二つ目の柱とする

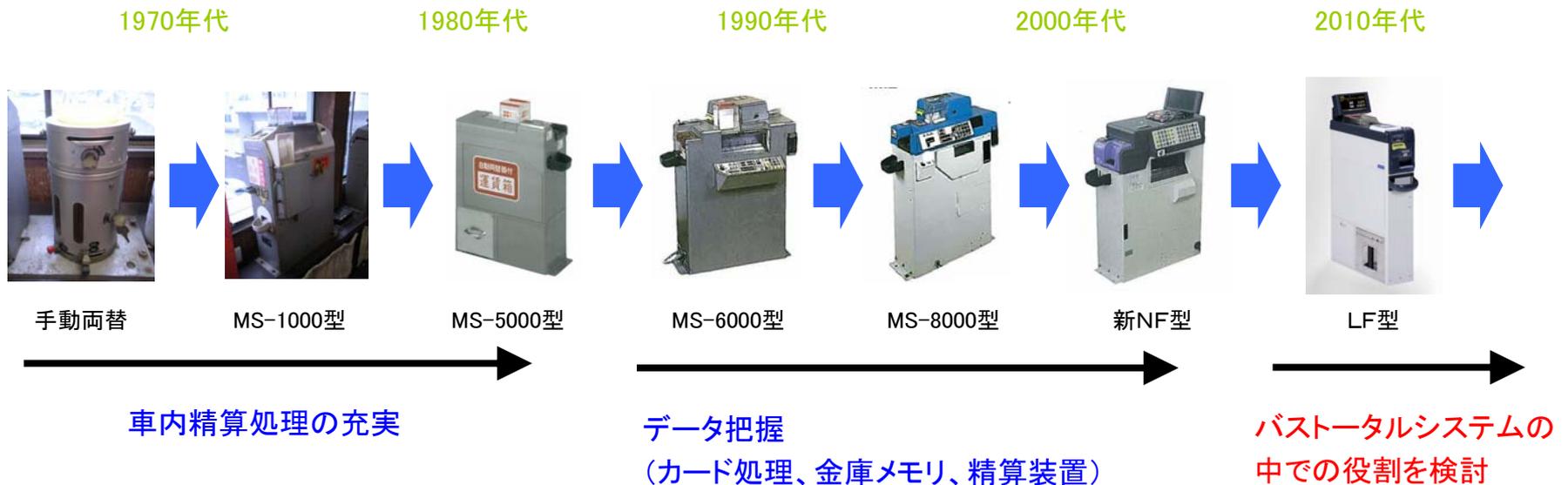
今後、3年以内の開発を進めるFMSとSSMの概要



新中期経営計画「+1=2015」の概要

重点課題② 次世代機器・システムの商品企画と拡販

リーディングカンパニーとして、新たな価値創造に挑む



新中期経営計画「+1=2015」の概要

重点課題③ 国内外でのLED灯具の拡販



■ 輸送機器市場でのLED灯具の拡販

【国内】

バス・鉄道・自動車向け照明ついて、あらゆる用途でのLED化に向けてメニューアップを推進

【海外】

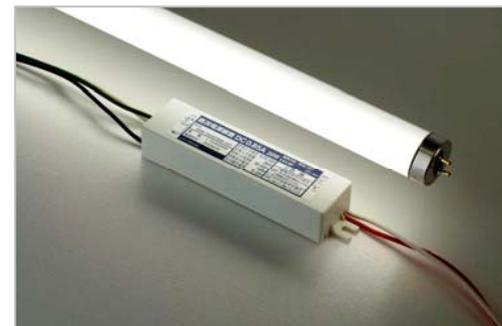
北米 … 鉄道灯具のさらなる拡販

アセアン … 圧倒的シェアを持つ日系の各トラックメーカーに
現地適格化製品の提案を推進

■ S&D市場でのLED灯具の拡販

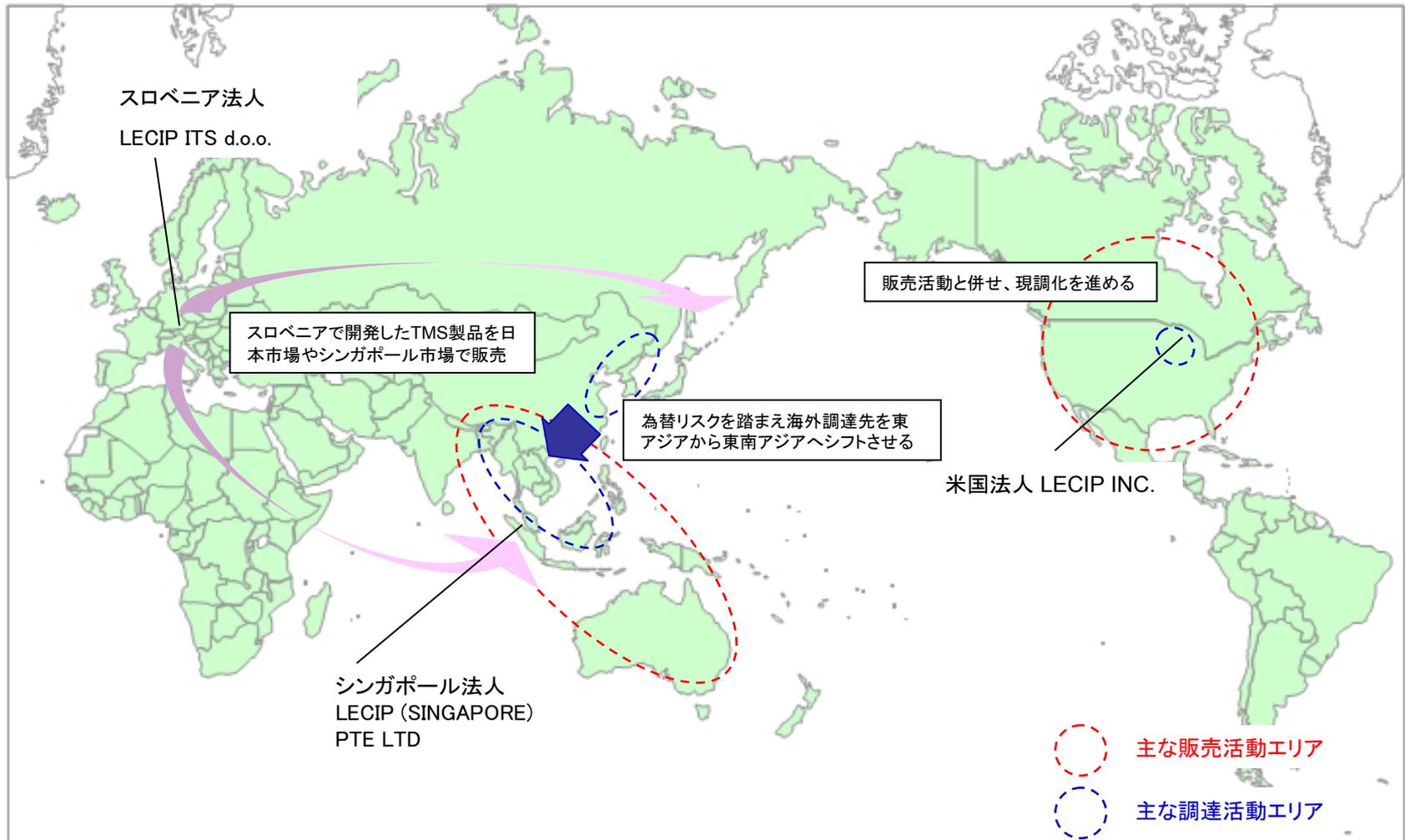
【国内】

競争が激化する一般照明市場から、当社のコア技術である防水、防爆加工が活かせる特殊市場へターゲットをシフトする



新中期経営計画「+1=2015」の概要

重点課題④ 海外パートナーシップの強化と戦略商品の創造



重点課題⑤ プロセス改善によるQCDの向上

- TMS事業におけるソフトウェア品質の確保、さらなるコスト削減に向け、「進捗の見える化」「知識のデータベース化」を推進

進捗の見える化

知識のデータベース化

✕ PLMによる開発の進捗管理

※PLM: Product Lifecycle Management

図面等の電子管理や開発・設計のプロセス管理の徹底を図る

✕ SSMによるノウハウの蓄積と伝達

※ SSM: Stress Strength Model

過去の不具合情報等を蓄積し、次の製品開発に活用するためのデータベースを構築する

✕ 生産ラインのIT化

タブレット端末を活用し、各持ち場でその日の作業内容の確認や作業後の生産台数登録等を行うことにより効率化を図る



当社概要

会社名	: レシップホールディングス株式会社 (LECIP HOLDINGS CORPORATION)
設立	: 1953年3月
代表者	: 代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	: 岐阜県本巣市上保1260番地の2
連結従業員数	: 440名
資本金	: 7億3,564万円
発行済株式総数	: 6,399,100株
上場証券取引所	: 東京証券取引所市場第2部、名古屋証券取引所市場第2部
証券コード	: 7213
連結子会社	: レシップ株式会社 : レシップエスエルピー株式会社 : レシップ電子株式会社 : レシップインターナショナル株式会社 : レシップエンジニアリング株式会社 : LECIP INC.(米国) : LECIP (SINGAPORE) PTE LTD (シンガポール)

(主な製品)
 充電器、無停電電源装置、
 物販共用読み取り端末、
 プリント基板実装



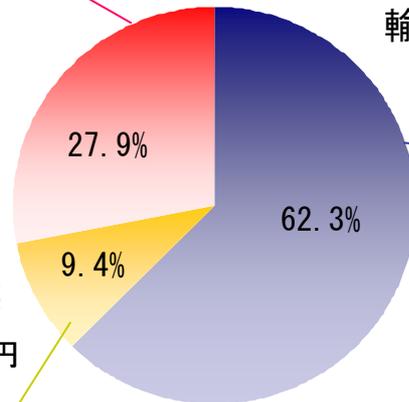
産業機器事業
 37億64百万円

S&D事業
 12億72百万円

(主な製品)
 LED電源、蛍光灯型LED灯具
 ネオン変圧器、
 屋外用電子安定器、CCL



24/3期 連結売上高: 13,480百万円

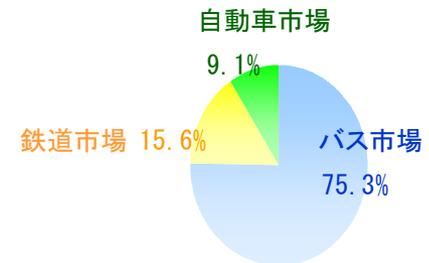


運輸機器事業
 83億97百万円

(主な製品)
 バス・鉄道用運賃箱、
 ICカードシステム、
 OBC(液晶表示器)、
 LED式行先表示機器、
 車載用照明機器



<運輸機器事業の市場別売上>



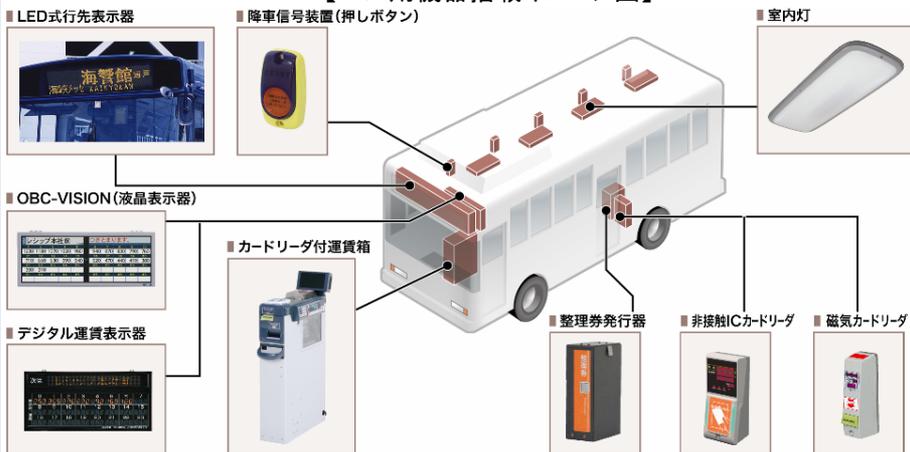
=== 輸送機器事業 ===

バス市場向け製品



- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」ワンストップソリューションを実現
- バス用ICカードシステムのパイオニア
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

=====【バス用機器搭載イメージ図】=====



鉄道市場向け製品



- ワンマン鉄道用機器と、車両用照明灯具を展開
- 鉄道用ワンマン機器は、国内90%以上のシェアを獲得

自動車市場向け製品



- 自動車用蛍光灯具のパイオニア、国内トップシェアを獲得
- LED灯具の拡販推進

=== S & D 事業 ===



LED電源と蛍光灯型LED灯具



ネオン変圧器



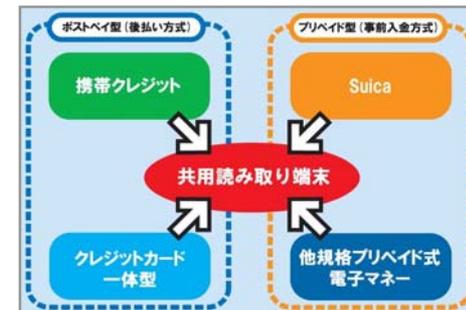
CCLのご採用事例 東京・銀座 横浜・みなとみらい CCL (Gold Cathode Lamp)

- ・ 不採算が続いていたネオン変圧器事業の再編
- ・ LED電源、蛍光灯型LED灯具の拡販推進
- ・ 建築・施設照明向けライティングシステム・CCLを展開

=== 産業機器事業 ===



フォークリフト用充電器



物販共用読み取り端末



プリント基板実装ライン



- ・ フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- ・ 複数規格の電子マネーに対応する物販共用読み取り端末の開発・製造
- ・ 連結子会社 レシップ電子において、プリント基板実装事業を展開

主な経営指標の推移

(単位:百万円)

	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期 予想
売上高	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	13,480	15,100
営業利益	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	493	477	380
営業利益率(%)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.7)	(6.3)	(0.2)	(1.0)	(3.8)	(3.5)	(2.5)
経常利益	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	514	526	400
経常利益率(%)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.5)	(6.5)	(0.5)	(1.2)	(3.9)	(3.9)	(2.6)
当期純利益	654	622	668	686	521	41	46	132	292	230
当期純利益率(%)	(4.0)	(3.6)	(3.8)	(3.7)	(3.1)	(0.3)	(0.4)	(1.0)	(2.2)	(1.5)
総資産	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	9,791	—
純資産	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	4,755	—
自己資本比率(%)	23.9	37.1	38.2	43.5	51.2	50.3	54.4	51.3	48.6	—
EPS(円)	107.70	96.29	104.68	107.38	81.61	6.55	7.34	20.80	46.85	42.43
ROE(%)	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	5.8	—
BPS(円)	441.66	599.65	689.82	781.66	835.49	827.65	825.60	830.76	877.37	—

LECIP GROUP

【資料お問合せ先】

レシップホールディングス株式会社

人事総務部 広報・IR担当

電話番号 : (058)324-3121

(将来予測について)

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。